

既往帝王切開妊娠の診断で帝王切開術を受けられた患者さんの 情報を研究に利用することについてのお知らせ

小倉医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、当該研究に検体・カルテ情報が用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の[当院の問い合わせ窓口]までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 経膈超音波断層法を用いた既往帝王切開分娩症例の子宮下部筋層菲薄部の経時的変化の後方視的観察研究

[当院の研究責任者] 産婦人科 川上浩介

[研究の背景]

妊娠中の子宮破裂は母体と胎児の生命を危険にさらします。多くの子宮破裂は過去に帝王切開分娩をされた患者さんが経膈分娩を行う際に起こります。過去に帝王切開を受けた方の0.2~1%に子宮破裂が起こるとされています。子宮破裂を避ける目的で帝王切開分娩が推奨されることもあり、世界中で帝王切開分娩の割合が増加しています。繰り返す帝王切開分娩は感染、前置胎盤、癒着胎盤、輸血、子宮摘出などのリスクが上昇するため、帝王切開分娩後の女性が安全に経膈分娩ができる方法を世界中で研究されていますが、いまだ安全な方法は確立されていません。

[研究の目的]

帝王切開分娩後に安全に経膈分娩できる指標を探索するため、妊娠中の超音波画像と帝王切開時の子宮筋層の厚みを比較検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

既往帝王切開妊娠の患者さんで、西暦 2017 年 4 月 1 日から西暦 2021 年 3 月 31 日の間に帝王切開術を受けた方

●研究期間：西暦 2020 年 12 月 1 日から西暦 2022 年 3 月 31 日

(臨床研究に関する公開情報/単施設実施用)

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：年齢、性別、身長、体重、病歴に関する情報（妊娠分娩歴）、超音波画像所見（経腔超音波断層法による子宮下部筋層）、分娩週数、手術記録、出生体重など

●検体や情報の管理

検体や情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構小倉医療センター

産婦人科 川上 浩介

〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘 10 番 1 号

電話 093-921-8881